

どんぐり村の こみ・すく通信

令和 7年12月 22日発行 令和7年度 第19号

更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

どんぐり村子ども会議開催

12月4日(木)に、村内小中学校三校の児童会・生徒会役員が中学校に集まり、「どんぐり村子ども会議」を開催しました。



この会議では、昨年度に出された課題である「ネット、スマホ、ゲームとの付き合い方ルール宣言」の児童版と生徒版の作成、さらに、いじめ根絶に向けた今年度の各校の取組の報告と、今後三校で共通して取り組みたいことでの熟議が行われました。

三校共通の取組に向けての熟議では、2つのグループに分かれて、「さすがは役員」と思わせるような活発な話し合いが展開されました。熟議での主な提案は以下の通りです。

【いじめ根絶に向けて、今後三校で共通してやりたい事の提案】

- ・全校で楽しむことができるイベント(クイズ大会、ケイドロ等)
- ・お互いにメッセージを送り合う交流(交流後、継続して仲良く)
- ・自分のプロフィールをカードに書き、共通の人を見つける。等



【村内小中学校から8名の代表が集まる】

これから、がんばります！

みんなの学校応援団の活動を紹介<その14>

上更小「理科の特設授業」

12月5日(金)に、上更別小学校5・6年生の理科の授業で、地元上更別にお住まいの東浩さんに来校していただき、「鳥は小さな恐竜!？」と題したお話をしていただきました。東さんは、「化石を調べてみると、鳥と恐竜には共通点があることが分かった」とし、その根拠となることを、最新のデータや絵図を示して、子どもたちに分かりやすく話してくれました。子どもたちからは、度々、驚きや関心を示す声が上がっていました。東さんは、固定概念にとらわれない自由な考え方が大切であることを強調されていました。



ほんとだ! 似てるなあ!

更中2年「さらべつほーぷ」の授業

12月8日(月)に、更別中央中学校2年生が、「さらべつほーぷ」の吉井ひなの医師(村診療所)と他のメンバー5名をお迎えして、10月に行った「職業体験」を踏まえての「人とのコミュニケーションの取り方」等について学びました。

生徒は、メンバーによる寸劇を見せていただく中で、「上手な話の聞き方」について考え、さらに、グループごとのロールプレイングで、コミュニケーションの取り方を練習しました。職業体験が生かされているからか、活発に活動し理解を深めていました。

